

## 第5回 産学交流 セミナーを開催

教育研究部会 (関西)

- 日時：2002年12月 7日(土)
- 場所：大阪化学繊維会館



質問が真剣だけに答えるのも一生懸命



少人数だけに本音で話が...



最初の硬さもほぐれて...



話は和やかでも表情は真剣です



サンプルやチャートも使って業界と仕事を説明



熱心に話に聞き入る学生達

関西のテキスタイルデザインを学ぶ学生達と、繊維業界の第一線で活躍しているTDAの若い先輩達と、就職、進路、業界の現状など、ともに考え語り合う、教育研究部会主催の「産学交流セミナー」が開催されました。

今年で5回目を向かえるこのセミナーもすっかり恒例となり、関西の大学6校、30余名の参加者を迎え、なごやかな中で熱心な質疑応答がおこなわれました。繊維業界は今極めて厳しい環境下のなかにあり、彼らにことさら厳しい就職状況を強いています。いきおい学生達からは将来の進路についての相談や、業界の動向にたいする質問が相次いで出されました。

講師の各氏は現在の仕事に関する資料や作品を披露しながら、自分自身のこれまでの経験をもとに、実社会に出てから感じた学生時代とのギャップや、役に立った技術を語り、さらに様々な業界の情報を提供してアドバイスに努めました。

4つの小グループに分かれ、気楽に話ができる形式張らない運営であったので、学生達には概ね好評でした。作品を持参し、講師の講評を求める風景もみられ熱意は相当なもの。講師陣も教えるだけでなく真摯なデザインに対する思いや、課題への真剣な取組に、学生に学ぶことも多かったとの声もきかれました。

参加者のアンケートにはこのセミナーを年2回くらいの開催を望む声が寄せられ、教育研究部会の宿題となりました。またできるだけ多くの人の話が聞きたい、事前にセミナーの内容を詳しく知りたかったなどの意見もよせられています。大学への案内の出し方やセミナー運営のありかたも再検討が必要と思われます。

講師の各氏 村上 暁子 矢澤 寿々子 越智 宏  
辻 めぐみ 山崎 徹 安藤 眞代  
八尾 静香 近藤 仁史(敬称略)

ご参加いただいた理事の皆さま、(有)オークの奥本氏、コア委員の河野、金清両氏他ご協力いただいた皆さまに感謝いたします。(鈴木 洋行)



時間もたつて休憩、リラックスして話が進む



ブリーフィングを聞く集まった学生諸君